

海ごみゼロ大作戦！ in石川

海ごみゼロプロジェクトin石川実行委員会



MRO北陸放送

2021年度 成果

『海ごみゼロ大作戦！ in石川』活動は2年目を迎え、県民への浸透を実感した年に』

- ◇コロナ禍で予定事業の半分は中止となったが、7つの事業を新規に追加
- ◇新規事業では、子どもや若者向けのイベントに参加(スポざわ祭、ガールズミーティング)
未来を担う人たちに海洋ごみ問題を呼びかけ～2022年度は若年層向けを強化
- ◇清掃活動に参加したいという企業や個人からの問い合わせが定期的に入るように
- ◇海ごみゼロ大使アントニーの「海ごみゼロ体操」が子どもたちの人気を呼ぶ
- ◇石川テレビ放送とコラボ～両局アナウンサー出演のテレビCMを制作



自治体・観光協会 連携モデル

志賀町と同町観光協会が行った「フォトジェニックビーチクリーン」に協力。清掃活動や海ごみアート制作などを実施。この取り組みはB&G財団の補助事業



大型イベント 連携モデル

SSTR(サンセットサンライズツーリングラリー)では、全国から集まった約5200人のライダーと清掃活動を実施。浸食が進む千里浜海岸の保護活動も呼びかけ



地元スポーツチーム 連携モデル

ツエーゲン金沢戦で冠マッチを開催。海ごみゼロ大使のアントニーも来場、対戦相手の新潟サポーターと「日本海を美しく」を合言葉に清掃活動を実施



自治体・スポーツ団体 連携モデル

金沢市と金沢スポーツアカデミーが主催する「スポーツかなざわ祭」で子どもたちにクイズを交えて海洋ごみ問題を考える機会を提供

メディア露出



海ごみゼロ体操テレビ30秒CM
5月・9月放送



海ごみゼロアワード募集
4/27「トクモリ」情報番組



フォトジェニックビーチクリーン
8/2「レオスタ」ニュース



SSTRバイクラリー
10/18「北國新聞」

TVCM743回 TV番組9回 新聞1紙 掲載

2021年度の課題とこれからの展望

2年目を迎えて名前や活動が広く知られるようになった一方、コロナ禍で「参加型」の事業が相次いで中止になった。こうした状況を受け、来年度以降は参加型から多くの人々が直に触れる機会を設けたい。とりわけ、未来を担う子どもたちや若い人々への訴求を重視し、この層に向けた取り組みを強化する。